
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2010年第10週
(3月8日～3月14日)

* 2010年3月17日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成22(2010)年3月18日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2010年10週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		7週	8週	9週	10週	年累計	10週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	73	80	60	42	723	288	4090
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					1		2
	細菌性赤痢			1		14	2	33
	腸管出血性大腸菌感染症	2	1		1	27	22	203
	腸チフス							2
	パラチフス		1			1		1
四類	E型肝炎	1		1	1	4	1	14
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1		3	9	8	38
	エキノコックス症							1
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					3		29
	デング熱				1	4	2	15
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1		2
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1		1		5		12
	野兎病							
ライム病		1			1		3	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽	1				1		2	
レジオネラ症		1	1		7	9	101	
レプトスピラ症							1	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		7週	8週	9週	10週	年累計	10週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	5	5	1	29	10	156
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1		3	3	11	4	32
	急性脳炎 *2	2	1		1	5	3	63
	クリプトスポリジウム症					1		1
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		2	3	29
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	1		4	1	31
	後天性免疫不全症候群	12	13	9	6	86	10	230
	ジアルジア症			1		3	1	15
	髄膜炎菌性髄膜炎						1	1
	先天性風しん症候群							
	梅毒	5	2	1	6	28	13	103
	破傷風							9
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				3	1	13
	風しん					1		14
麻しん	1		3	1	10	9	86	
新型※	新型インフルエンザ	-	-	-	-		-	
2010/3/17集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症: 2009年4月28日に指定された。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 42件 肺結核25件、その他の結核14件、肺結核及びその他の結核3件で、推定感染地は国内41件、国内及び国外1件、年齢は10歳代2件、30歳代6件、40歳代4件、50歳代11件、60歳代6件、70歳代10件、80歳代3件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件 無症状病原体保有者。血清型・毒素型はO157(VT2)、年齢は60歳代であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 推定感染地は国内、推定感染経路は飲食物(猪肉)による経口感染であった。

A型肝炎 3件 全て推定感染地は国内、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

デング熱 1件 血清型は3型で、推定感染地はタンザニアである。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件 腸管アメーバ症で、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(異性間)であった。
ウイルス性肝炎 3件 全てB型で、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(異性間1件、両性間1件、不明1件)であった。

急性脳炎 1件 病原体不明で、年齢は30歳代であった。

後天性免疫不全症候群 6件 無症候キャリア5件、AIDS1件。無症候キャリアおよびその他の年齢は10歳代1件、20歳代2件、30歳代1件、60歳代1件、AIDS患者の年齢は50歳代1件である。推定感染地は国内4件、不明2件、推定感染経路は性的接触4件(同性間3件、異性間1件)、性的接触及び静注薬物1件、不明1件であった。

梅毒 6件 早期顕症梅毒Ⅰ期3件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件、無症候1件で、そのうち早期顕症梅毒Ⅰ期1件はHIVとの複合感染である。全て推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間4件、異性間1件、不明1件)であった。

麻しん 1件 麻しん(臨床診断例)で、年齢は10歳未満、麻しん含有ワクチン接種歴は1回であった。

※第9週該当分として、五類 アメーバ赤痢 1件(推定感染地国内)の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2010年10週

定点種別	対象疾患	2010年					報告医療機関数	定点医療機関数
		7週	8週	9週	10週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	80	83	77	66	0.44	149	150
	咽頭結膜熱	21	29	24	22	0.15		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	248	301	285	247	1.66		
	感染性胃腸炎	1,712	1,892	1,626	1,690	11.34		
	水痘	267	187	271	225	1.51		
	手足口病	11	8	8	22	0.15		
	伝染性紅斑	21	41	38	34	0.23		
	突発性発しん	73	75	80	90	0.60		
	百日咳	3	4	1	5	0.03		
	ヘルパンギーナ	3	9	7	8	0.05		
	流行性耳下腺炎	92	96	108	105	0.70		
	不明発しん症 (注1)	7	19	7	5	0.03		
MCLS(川崎病) (注1)	2	2	3	4	0.03			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	486	405	179	95	0.33	287	290
眼科	急性出血性結膜炎	0	2	5	1	0.03	39	39
	流行性角結膜炎	18	9	10	13	0.33		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	1	0	1	0.05	22	24
	無菌性髄膜炎	0	0	2	1	0.05		
	マイコプラズマ肺炎	4	9	8	8	0.36		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0	0	0	0.00		

2010/3/17集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は微減した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は7週連続して減少し、全ての保健所管内で定点当たり1.0を切った。今シーズンは感染症法施行(1999年)以来、最大の報告数となっており、引き続き注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:47名中、ロタウイルス性腸炎13名。

中野区保健所管内定点医療機関

- ・咽頭結膜炎:アデノウイルス陽性で結膜炎所見を欠いた、咽頭症状と発熱の児童が何人か出ています。

多摩立川保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:5ヶ月児1名、6ヶ月児1名、11ヶ月児1名、1歳児4名、3歳児2名、ロタウイルス性腸炎。

多摩府中保健所管内定点医療機関

- ・伝染性紅斑:一部保育園で流行をみる。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2010年10週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	9		1	12	3			2		
～11か月	11	3	2	73	7		1	34		1
1歳	31	2	6	188	39	10	3	46	1	1
2歳	9	3	12	145	32	4	4	5		3
3歳	3	3	15	150	31	2	4	1		1
4歳	1	1	43	166	43	4	4	1	1	
5歳	1	2	28	152	35	2	5			
6歳		3	32	144	15		6	1		
7歳		2	29	96	6		2			
8歳		1	15	82	3		3			2
9歳	1		22	81	2		2			
10～14歳		2	30	161	6					
15～19歳			2	27	1					
20～29歳			10	213	2				3	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	66	22	247	1690	225	22	34	90	5	8
先週比	-11	-2	-38	64	-46	14	-4	10	4	1

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月						
～11か月		2	1	1		
1歳	10	1		2		
2歳	12	1	2			
3歳	8	1		1		
4歳	15		1	6		
5歳	14			2		
6歳	22			9		
7歳	5			8		
8歳	6			3	1	
9歳	4			2		
10～14歳	5			19		
15～19歳	2			9		
20～29歳	2			13		
30～39歳				14		2
40～49歳				5		5
50～59歳				1		2
60～69歳						2
70～79歳						2
80歳以上						
合計	105	5	4	95	1	13
先週比	-3	-2	1	-84	-4	3

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2010年10週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		1
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	0	1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2010年10週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				9			1	1		
中央区				14	5			4		
みなの	9	1	14	65	12	3		3		
新宿区			5	25	3					
文京			9	24	9					
台東		1	13	47	2			2		
墨田区			2	39	5	2		2		
江東区	1		13	88	11			2		
品川区	5	1	4	66	6	1		6		
目黒区			3	15	1				1	
大田区	11	11	13	119	7	1	2	3	2	5
世田谷	1	1	19	100	7	2			1	
渋谷区	1	2	3	27	6		1	5	1	
中野区	1	1	9	68	7		1	1		
杉並			5	73	5		1	2		
池袋	4		7	15	6	1		2		
北区			7	39	6	3		2		
荒川区		2	2	19	3		2	2		
板橋区			2	23	2			3		
練馬区			6	67	5		1			
足立	1		10	53	13		6	2		
葛飾区			7	47	17	2	5	3		
江戸川	6		14	105	10	1	2	5		
八王子市	3		30	124	14		6	12		
西多摩	1		5	45	1					
南多摩	5		11	64	9			4		
町田	5		17	114	20		2	5		3
多摩立川	4		2	60	2			1		
多摩府中	1		3	59	12		2	13		
多摩小平	7	2	12	77	19	6	2	5		
島しょ										

東京都合計	66	22	247	1,690	225	22	34	90	5	8
-------	----	----	-----	-------	-----	----	----	----	---	---

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2010年10週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			3			
中央区						2
みなと	3			3		
新宿区	2			4		4
文京	1			1		1
台東	1					
墨田区	2			2		
江東区	7		1			
品川区				7		
目黒区						
大田区	9			12		
世田谷	2			5		2
渋谷区						
中野区	2			8		1
杉並	1			4		
池袋				5		
北区	1			4		
荒川区				2		
板橋区				3		
練馬区	7	1		2		1
足立	5			4	1	
葛飾区	6	1		2		
江戸川	4			4		
八王子市	16			3		
西多摩	4			2		
南多摩	4			3		1
町田	14	2		8		
多摩立川	4			1		
多摩府中	2			2		1
多摩小平	8	1		4		
島しょ						

東京都合計	105	5	4	95	1	13
-------	-----	---	---	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		1
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	0	1
-------	---	---

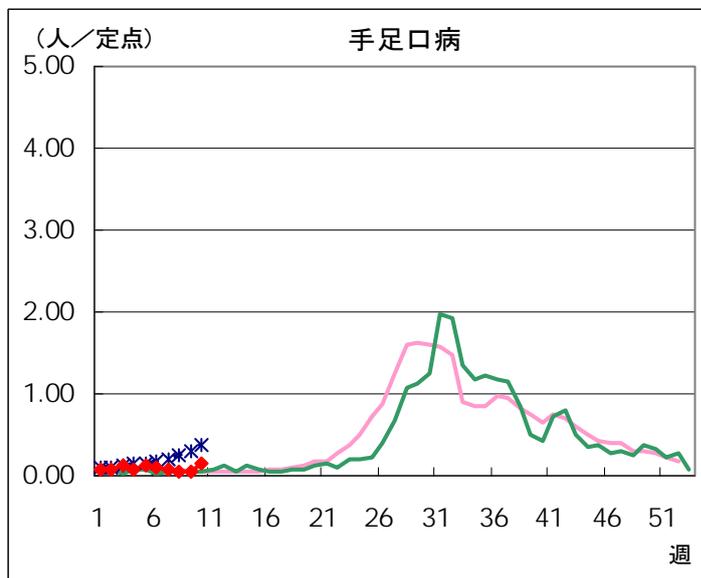
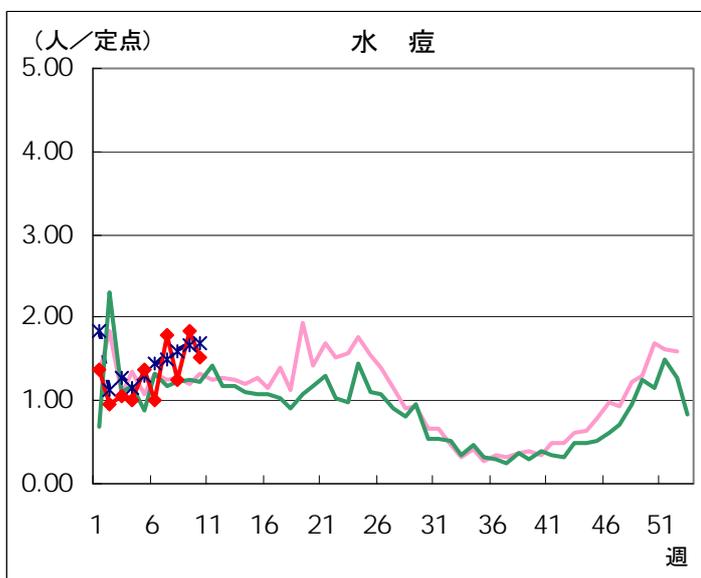
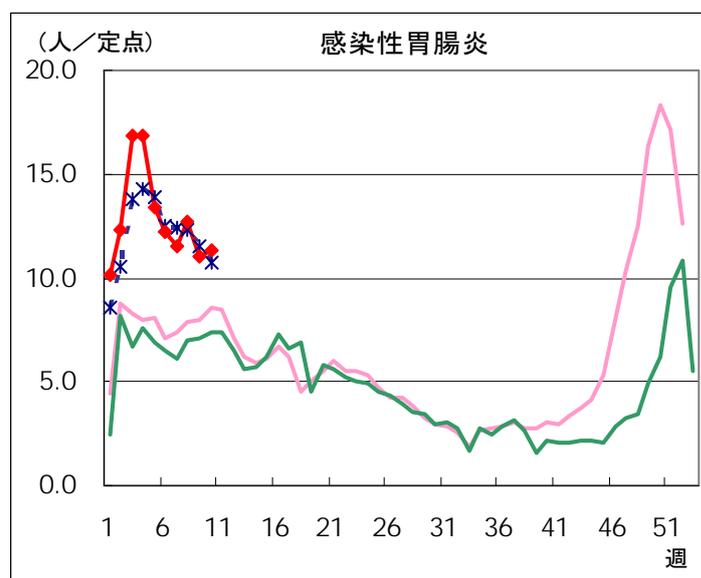
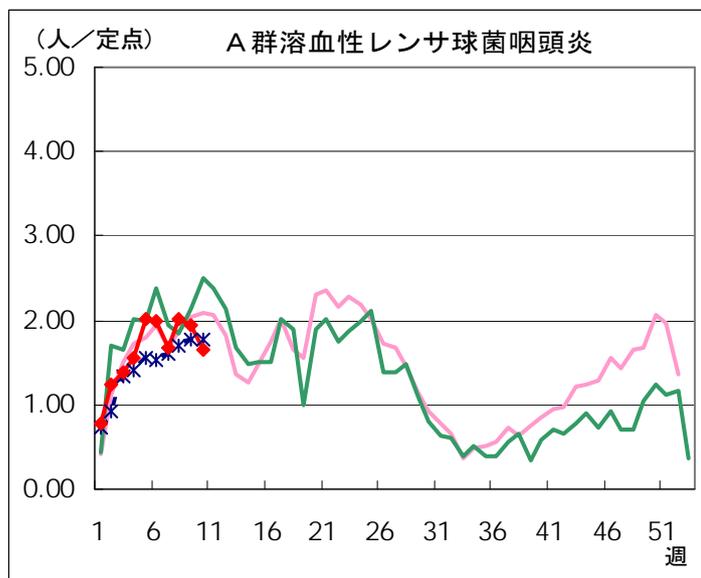
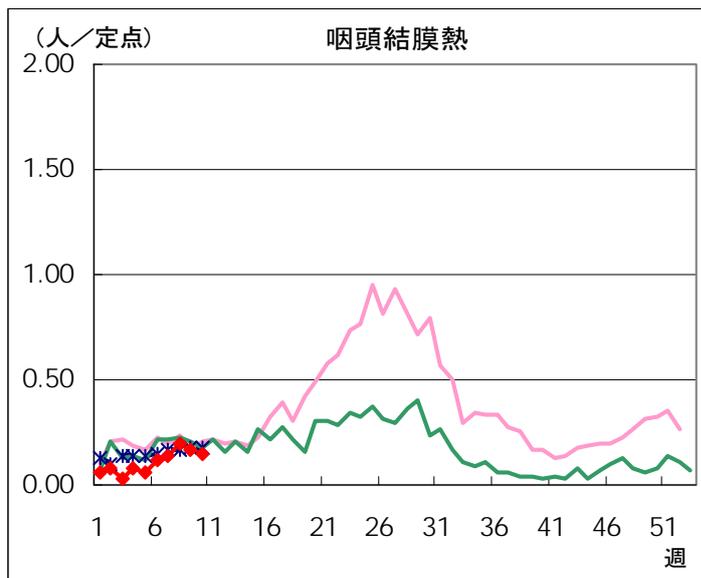
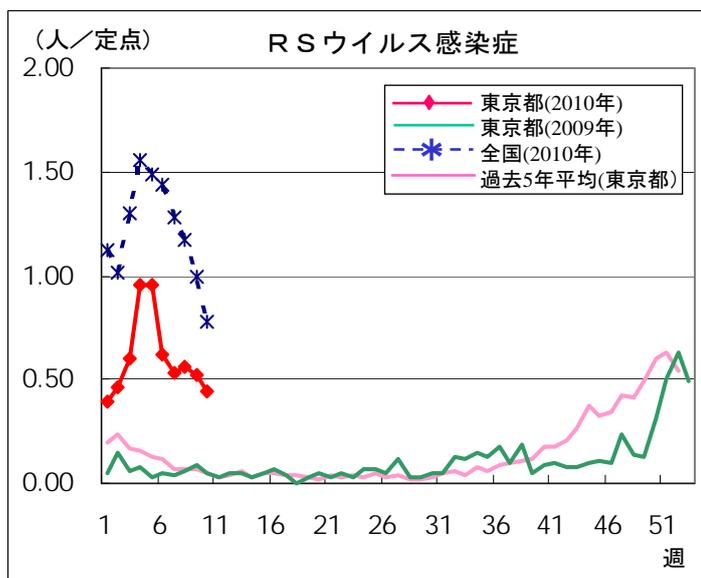
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2010年10週

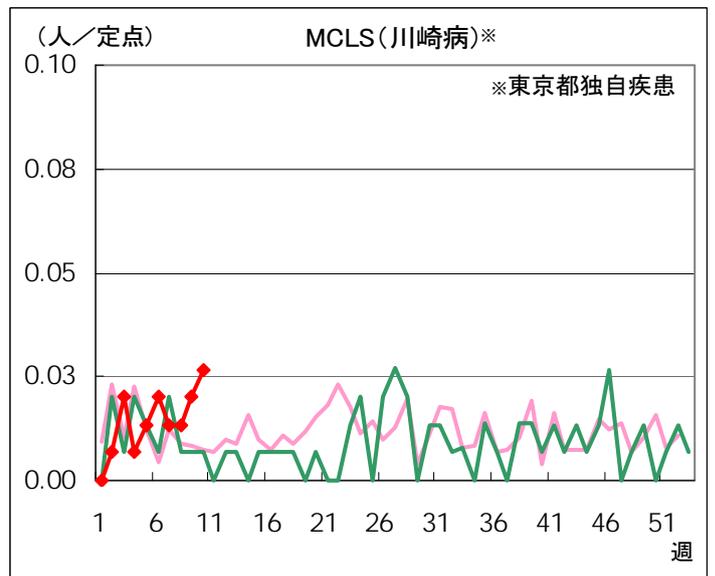
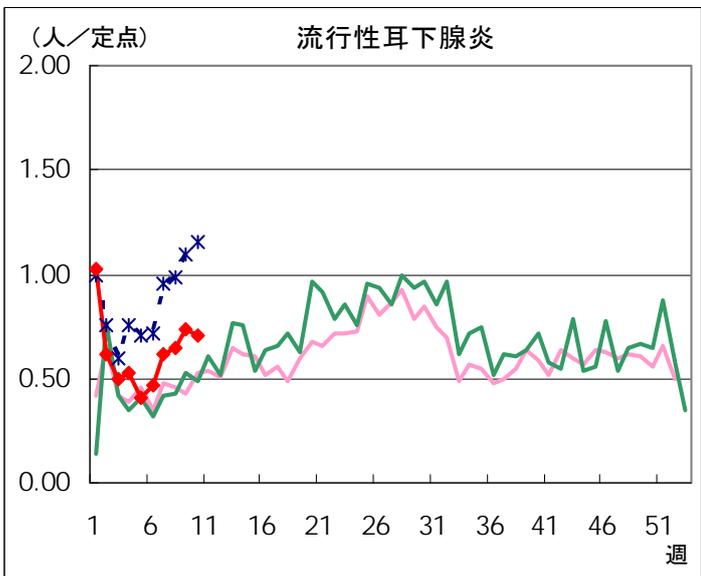
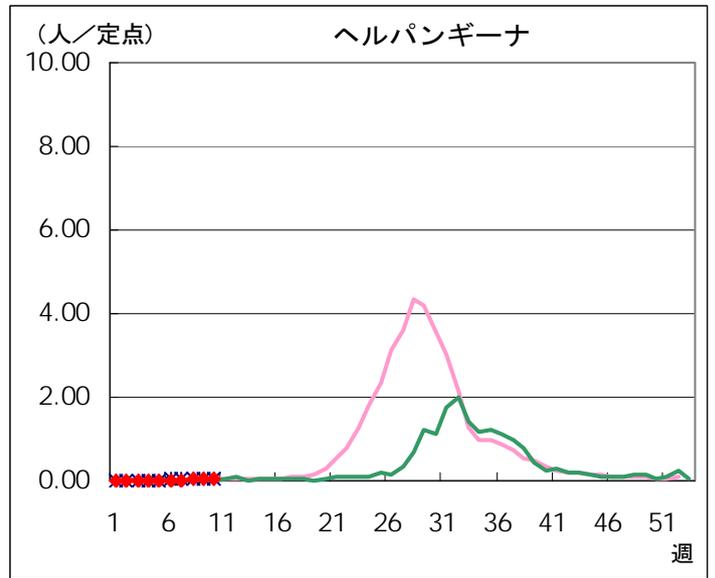
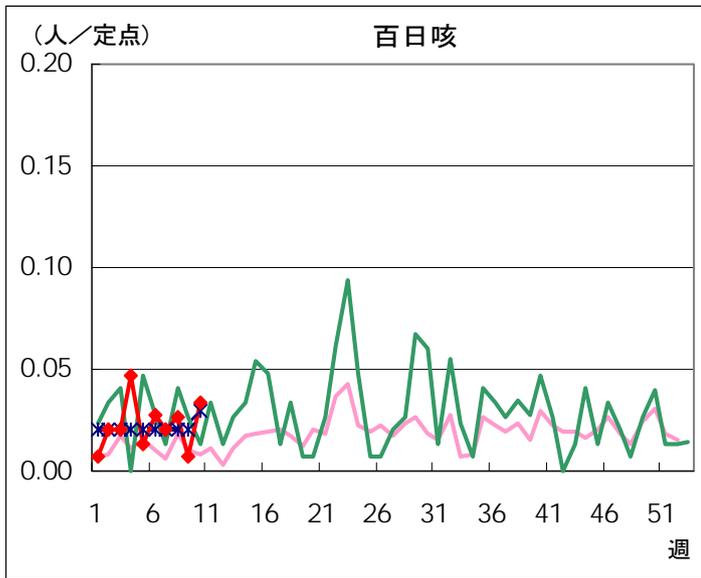
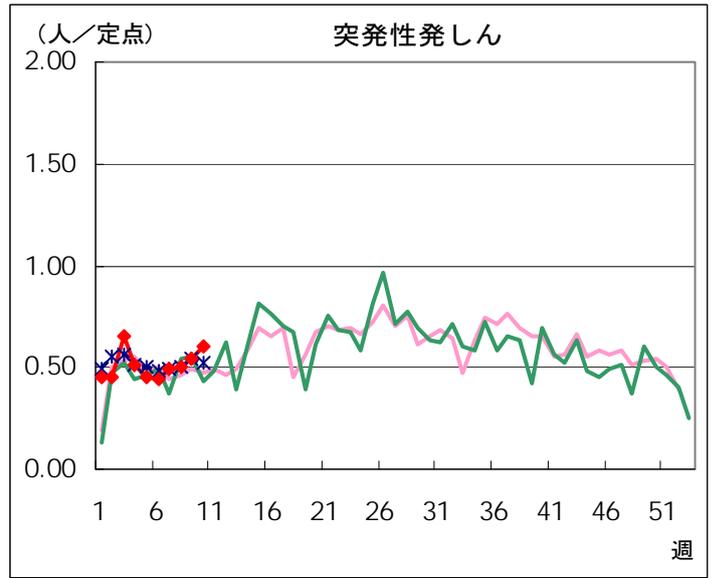
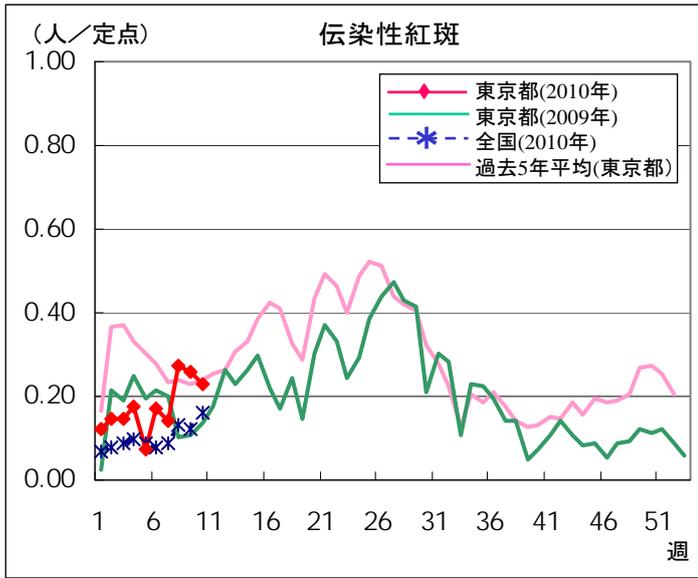
定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				3.00			0.33	0.33		
中央区				4.67	1.67			1.33		
みなと	1.50	0.17	2.33	10.83	2.00	0.50		0.50		
新宿区			0.83	4.17	0.50					
文京			3.00	8.00	3.00					
台東		0.33	4.33	15.67	0.67			0.67		
墨田区			0.67	13.00	1.67	0.67		0.67		
江東区	0.25		3.25	22.00	2.75			0.50		
品川区	0.83	0.17	0.67	11.00	1.00	0.17		1.00		
目黒区			1.00	5.00	0.33				0.33	
大田区	1.22	1.22	1.44	13.22	0.78	0.11	0.22	0.33	0.22	0.56
世田谷	0.13	0.13	2.38	12.50	0.88	0.25			0.13	
渋谷区	0.25	0.50	0.75	6.75	1.50		0.25	1.25	0.25	
中野区	0.17	0.17	1.50	11.33	1.17		0.17	0.17		
杉並			0.83	12.17	0.83		0.17	0.33		
池袋	0.80		1.40	3.00	1.20	0.20		0.40		
北区			1.75	9.75	1.50	0.75		0.50		
荒川区		1.00	1.00	9.50	1.50		1.00	1.00		
板橋区			0.33	3.83	0.33			0.50		
練馬区			1.20	13.40	1.00		0.20			
足立	0.20		2.00	10.60	2.60		1.20	0.40		
葛飾区			1.75	11.75	4.25	0.50	1.25	0.75		
江戸川	1.20		2.80	21.00	2.00	0.20	0.40	1.00		
八王子市	0.75		7.50	31.00	3.50		1.50	3.00		
西多摩	0.20		1.00	9.00	0.20					
南多摩	1.25		2.75	16.00	2.25			1.00		
町田	1.25		4.25	28.50	5.00		0.50	1.25		0.75
多摩立川	0.67		0.33	10.00	0.33			0.17		
多摩府中	0.10		0.30	5.90	1.20		0.20	1.30		
多摩小平	1.17	0.33	2.00	12.83	3.17	1.00	0.33	0.83		
島しょ										
東京都	0.44	0.15	1.66	11.34	1.51	0.15	0.23	0.60	0.03	0.05

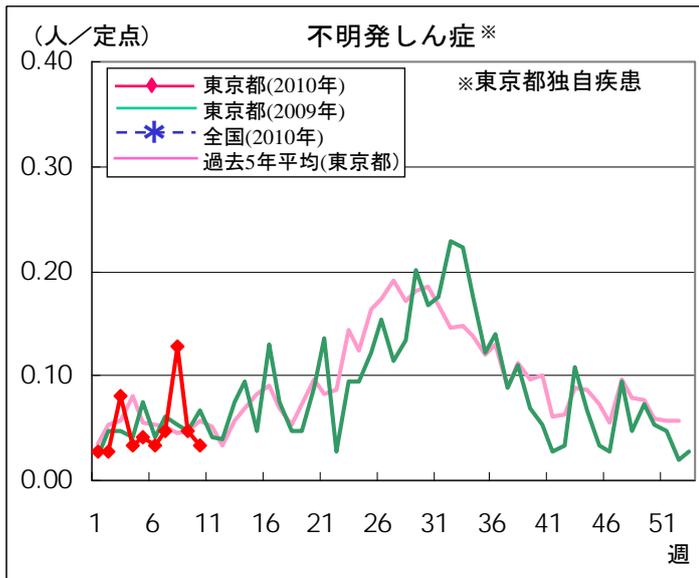
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			1.00			
中央区						2.00
みなと	0.50			0.38		
新宿区	0.33			0.44		2.00
文京	0.33			0.20		1.00
台東	0.33					
墨田区	0.67			0.33		
江東区	1.75		0.25			
品川区				0.70		
目黒区						
大田区	1.00			0.75		
世田谷	0.25			0.31		1.00
渋谷区						
中野区	0.33			0.89		1.00
杉並	0.17			0.33		
池袋				0.63		
北区	0.25			0.50		
荒川区				0.50		
板橋区				0.25		
練馬区	1.40	0.20		0.17		0.50
足立	1.00			0.33	0.50	
葛飾区	1.50	0.25		0.22		
江戸川	0.80			0.33		
八王子市	4.00			0.30		
西多摩	0.80			0.22		
南多摩	1.00			0.33		1.00
町田	3.50	0.50		0.89		
多摩立川	0.67			0.08		
多摩府中	0.20			0.11		0.33
多摩小平	1.33	0.17		0.29		
島しょ						
東京都	0.70	0.03	0.03	0.33	0.03	0.33

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2010年10週現在

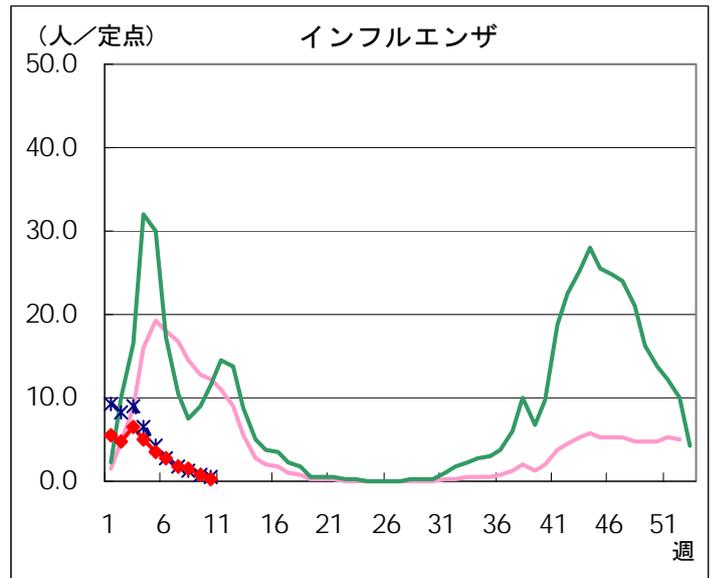
◆ 小児科定点



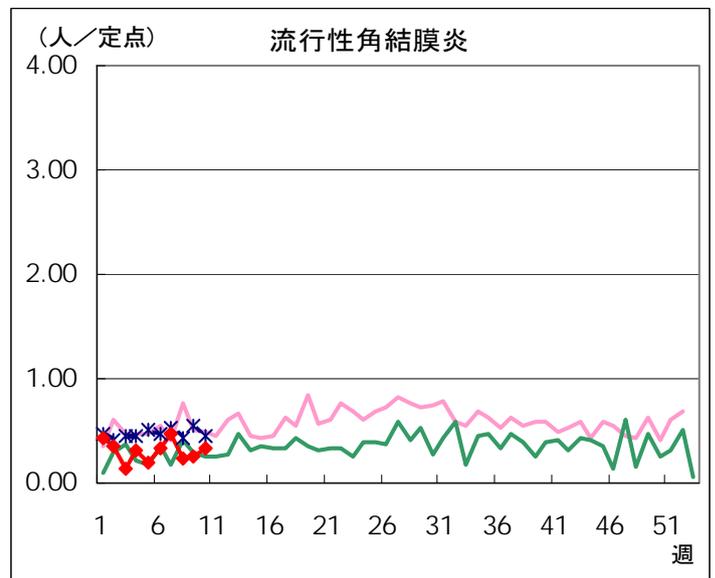
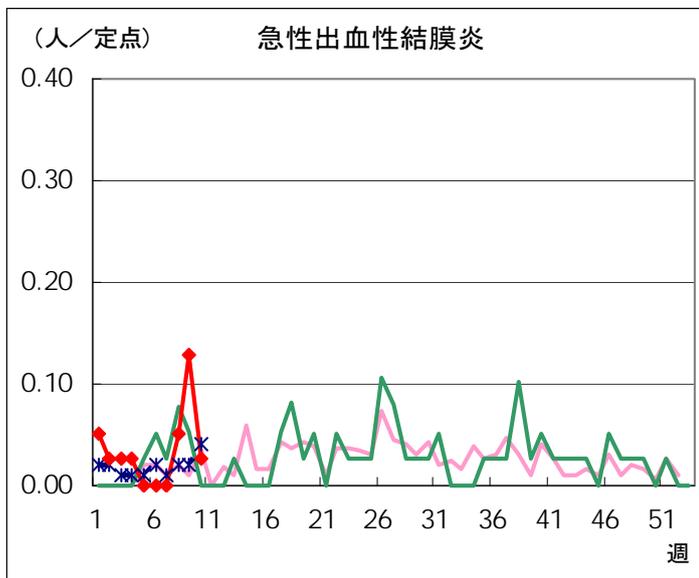




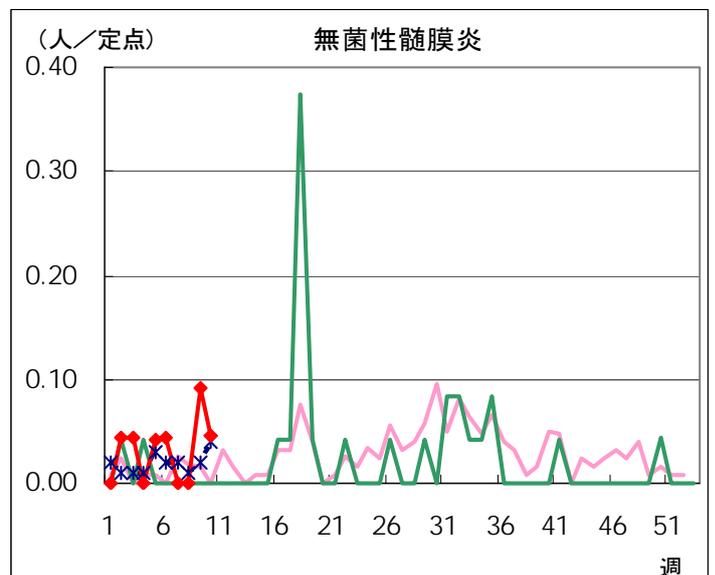
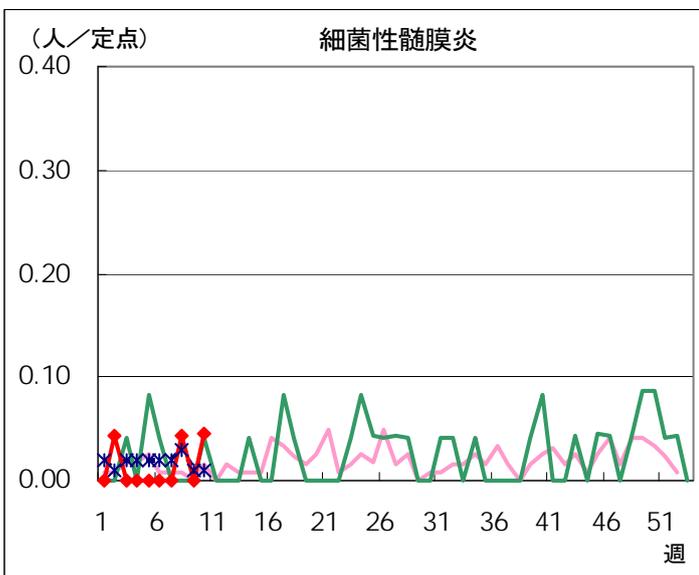
◆ インフルエンザ定点

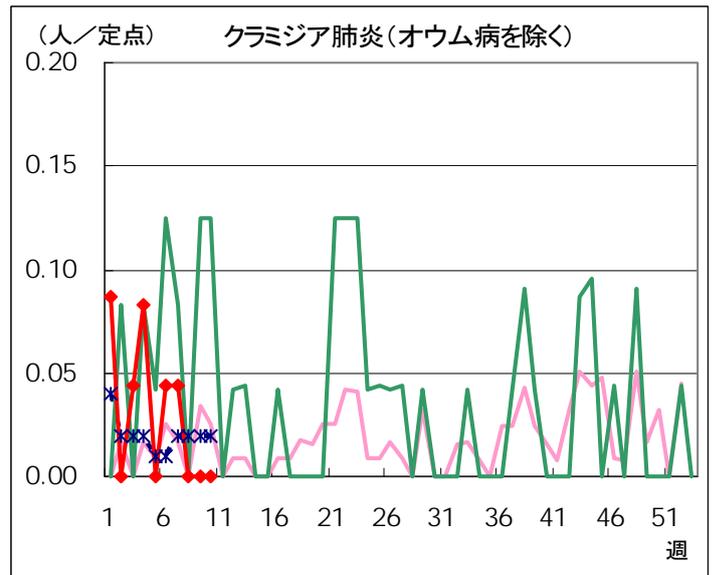
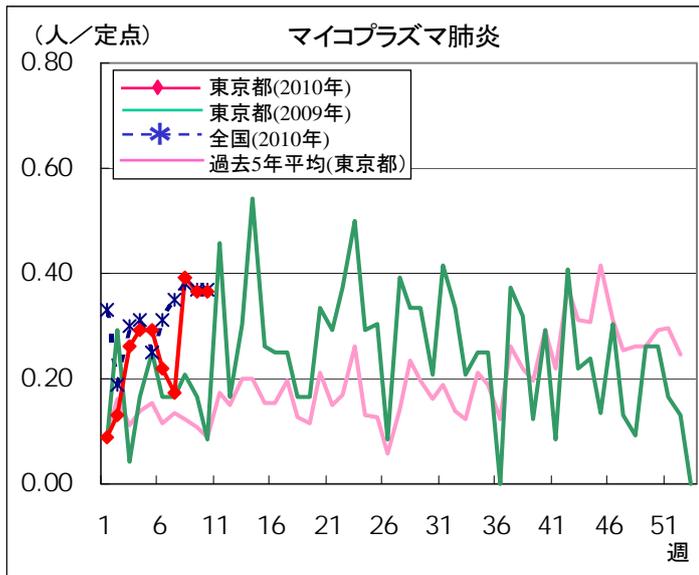


◆ 眼科定点

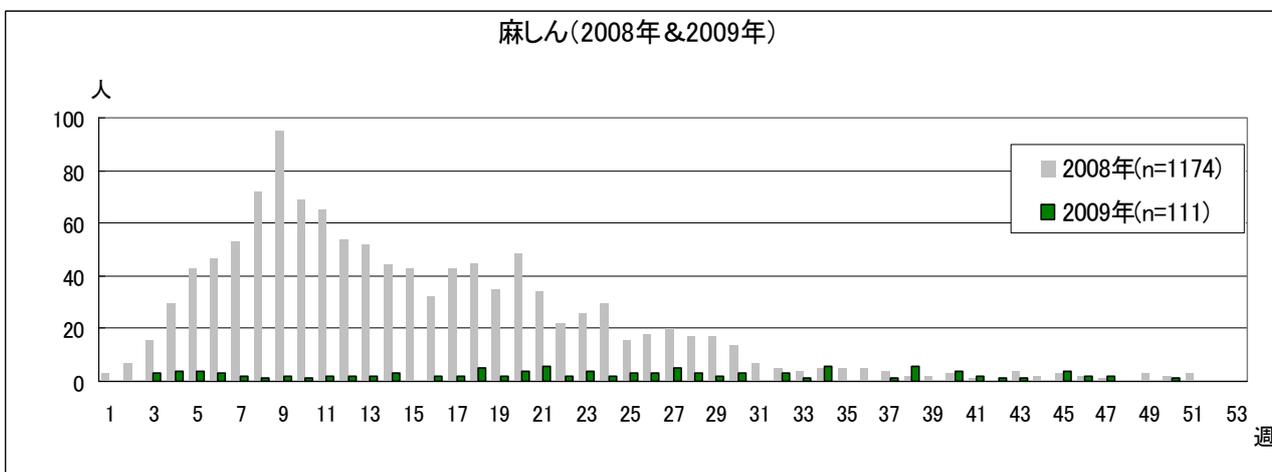
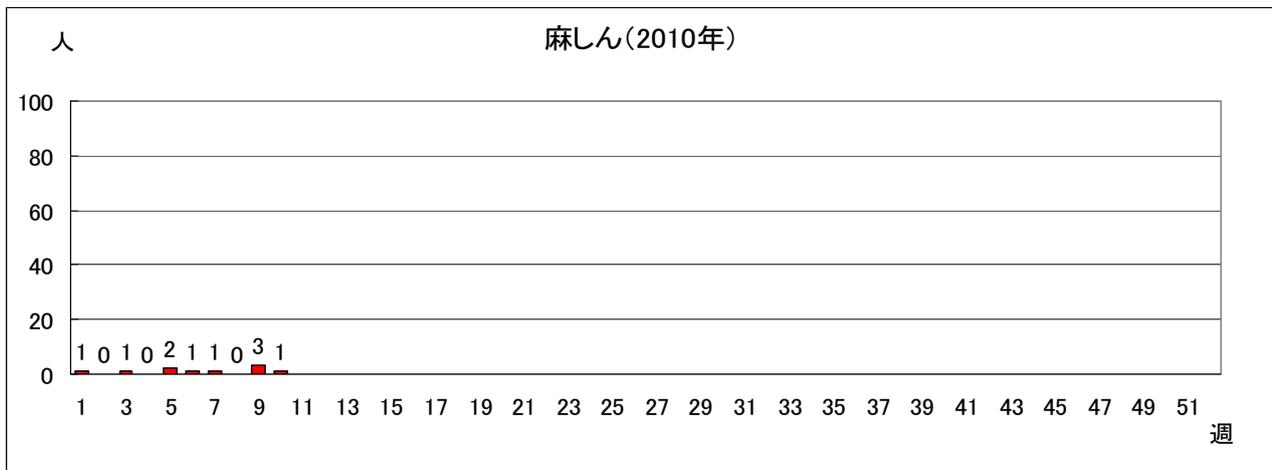


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2010年10週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
2/25	急性副鼻腔炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	遺伝子
2/27	歯肉炎	記載なし	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス1型	
3/1	不明発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型7型	
3/1	唾液腺腫脹	3	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
3/2	流行性角結膜炎	37	結膜拭い液	単純ヘルペスウイルス1型	
3/2	急性扁桃炎	5	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
3/3	気管支炎	3	咽頭拭い液	RSウイルス	
3/3	習慣性扁桃炎	5	咽頭拭い液	RSウイルス	
3/3	小児喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、RSウイルス	
3/3	感染性胃腸炎	4	糞便	A群ロタウイルス	抗原
記載なし	気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)*
9週	0	0	1	6
今シーズン累計**	1	0	3	719

*: 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/H1N1)。

** : 2009-2010シーズンの開始は第36週(8月31日~9月6日)。

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年							
		2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
ウイルス	アデノウイルス	2	12	8	9	5	2	14	2
	ライノウイルス		5	1	2	1	3	3	1
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス		1	1	1	3		1	
	単純ヘルペスウイルス							1	2
	水痘・帯状疱疹ウイルス		1					1	
	ヘルペスウイルス6/7	4	2	3	3	4			3
	EBウイルス	1	3	1	4		1		
	サイトメガロウイルス		2			1		1	
	ムンプスウイルス	1	2		4	1		2	1
	麻疹ウイルス					1			
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19	1							
	RSウイルス	1	5	9	7	2	9	5	3
	ノロウイルス	4	3	14	2	2	9	2	
	ロタウイルス		1				5	2	1
	インフルエンザウイルスAH1								
インフルエンザウイルスAH3									
インフルエンザウイルスB					1		1	1	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	20	34	19	29	20	17	22	6	
デングウイルス(抗体を含む)				3					
その他のウイルス				1					
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌		3					4	
	その他の細菌					1		1	
その他の病原体			1						

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年2週～2010年9週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	198	35	64	60	23	2		3		3	2	13	12	1			125	
ウイルス	アデノウイルス	8	6	15	11		1					3	2				8	
	ライノウイルス	2		3	2							1	1				7	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1			2					3		1						
	単純ヘルペスウイルス								1									2
	水痘・帯状疱疹ウイルス														2			
	ヘルペスウイルス6/7			3						1		5						10
	EBウイルス			2		2				1			2					3
	サイトメガロウイルス												3					1
	ムンプスウイルス					2								8				1
	麻疹ウイルス												1					
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1						
	RSウイルス			3	32	2												4
	ノロウイルス				2	27												7
	ロタウイルス					8												1
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB																		
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	3																	
デングウイルス(抗体を含む)	163	1	2														1	
その他のウイルス					1												3	
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌			6													1	
その他の細菌																	2	
その他の病原体				1														